

--子どもも高齢者も輝く新宿に--

こんにちは

日本共産党新宿区議会議員

**近藤なつ子**です



No.116 2010.8月号 発行：日本共産党新宿区議団  
区議団控室：TEL5273-3551、Fax3200-1474  
近藤：TEL090-4849-3227、Fax3200-5163  
e-mail：natsuko\_kon86@muf.biglobe.ne.jp  
ホームページは「近藤なつ子」と検索してください。

# 消費税が導入されてから

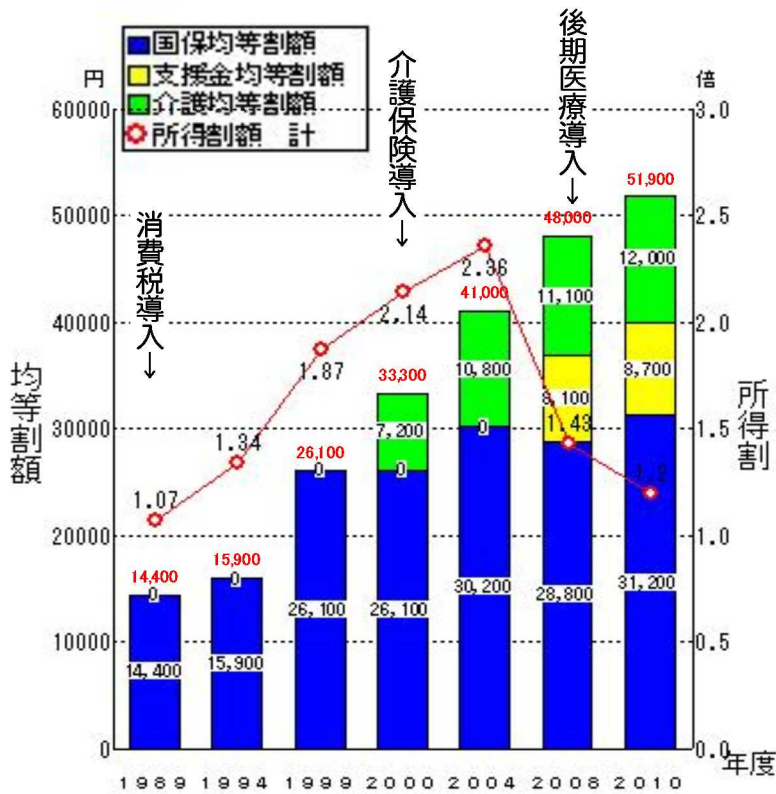
## 国保料・均等割額は3.6倍に!

### 「これじゃ、払えなくなるわ

# 国保料は値下げをさせよう！」



年間の国保料の均等割額・所得割の推移



**14400円** → **51900円**

たった21年で **3.6倍**

(ただし、介護分が含まれる40歳～65歳未満の方、1人当りの均等割額合計です)

## 重すぎる保険料負担… 払える金額にして

重すぎる国保料負担のため「払いたくても払えない」と多くの方から声を聞きます。

左に棒グラフに示した40歳～64歳の方の均等割額合計は、消費税が始まった1989年度の14400円が、今年度51900円と実に3.6倍になっていきます。特に、中山区長が就任して以来の8年間は、毎年均等割額は値上げされ、負担は増大しています。

一方、所得割は05年の住民税の2.44倍をピークに下がり、年収400万円以下の不安定な世帯に負担が集中しています。「消費税導入は福祉のため」は真つ赤なワソです。

負担増の主な原因は、国が国庫負担金の割合を減らしてきたからです。国保財政に占める国庫負担割合は、89年度34.6%だったのが、今年度は24%です。東京都もこの間削減しています。国も都も復元させ、払える金額にさせましょう!

制度変更でまた値上げの可能性が  
また来年度から、扶養控除や医療

### 65歳以上はもっと大変!!

65歳以上になると国保料で支払う介護分と切離され、介護保険料が別の基準で徴収されます。

一番低い第1段階の人で、年間25800円、基準とされている第4段階(本人が住民税非課税で世帯員が住民税課税)の人では、52800円になります。

負担が重く、高齢者に冷たい実態は「老後が不安」との声を各世代から出させています。

費、生命保険などの雑損失控除分は反映しない「旧ただし書き所得方式」に制度を変更する予定です。低所得の方や控除がある世帯では、今よりも値上げの可能性ががあります。これは、国保会計も各自自治体ではなく、都道府県を単位とする広域にし、区民の声が更に届かないようにするためのもです。どんな方法でも、区民負担が増えては大変です。

日本共産党・近藤なつ子区議は引き続き、みなさんと一緒に、「税金の使い方・取り方変えて」「国保料の値下げを」の声を実現させるため頑張ります。

